

## 第19回福岡県男女共同参画表彰 受賞者

部門	受賞者	受賞理由
女性の活躍推進部門	かま男女共同参画推進ネットワーク (嘉麻市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年、男女共同参画の啓発・推進を目的に設立。</li> <li>市の教育委員会と連携し、嘉麻市男女共同参画推進条例の児童向け教材冊子「学ぼうそして行動しよう」を作成し、教育現場への導入に取り組んでいる。</li> <li>嘉麻市が策定する計画や方針等に、男女共同参画の視点が反映されるよう、同ネットワークの会員が、防災や農業など様々な分野の審議会に積極的に参加している。</li> </ul>
	株式会社プロデュース (北九州市八幡西区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子育て中の女性がいきいきと働き、リーダーに育つ会社」を実現するために、女性管理職の育成に注力している。</li> <li>シニア世代の資格取得支援など幅広い人材育成に取り組んでいる。</li> <li>男性社員の育児休業取得を推進するとともに、子連れ出勤を認めることで、子育て中のスタッフが安心して仕事に集中できる環境の整備に取り組んでいる。</li> <li>専業主婦や高齢者等の人材を活用し、地域の雇用を創出している。</li> </ul>
困難な状況にある女性の自立支援部門	NPO法人がんのママをささえ隊ネットワーク ETERNAL BRIDGE (福岡市東区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年から、昨今急増しているAYA世代のがん患者の中でも、子育て中の女性がん患者の支援に特化した活動を展開している。</li> <li>子育てとがん治療に向き合う女性がん患者の体験談冊子の作成や、SOSメール相談を通して、当事者が抱える不安の解消だけでなく、一人ひとりに寄り添った支援を提供している。</li> <li>現在まで、延べ40回以上のかたり場を含めたイベントを開催し、約700名の当事者・家族等を支援・サポートしている。</li> </ul>
	白川 多鶴子 (宗像市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成元年から継続して、児童養護施設より知的障がいのある女性を、就労を目的として自社(花き販売会社)に受け入れている。</li> <li>当初は家庭で受け入れ、人数が増えてからは女子寮を建設し、仕事だけではなく生活面もサポート。</li> <li>「困難な状況にあっても社会で自立し、幸せな人生を全うできることを信じて生きてほしい」という思いで、6名(現在は2名)の障がいを持つ女性の社会的・経済的自立に尽力している。</li> </ul>
女性の先駆的活動部門	九州大学病院臨床教育研修センター きらめきプロジェクト (福岡市東区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年以降13年間にわたり、医療人のキャリアの継続を目指した取組を実施。</li> <li>医師・歯科医師を非常勤職として、仕事と家庭の両立ができる勤務条件で雇用し、その後のキャリアの継続や復職を支援している。</li> <li>男女を問わず、医療人の働き方に対する意識の変革を促す啓発や、医療人がいきいきと働く環境を整備している。これにより、女性医療人が不本意に職を辞することなく、キャリアの維持を目指すことが可能となった。</li> </ul>
	NPO法人ジェンダー平等福岡市民の会 (福岡市南区)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年に設立し、男女共同参画に関する提言の実施や、市民啓発活動のためのビデオ・DVD、ハンドブックなどの作成、地方議会に女性議員を増やすための取組などを行っている。また、防災・災害復興における男女共同参画の視点からの啓発活動をいち早く実施している。</li> <li>男女共同参画社会の実現に向けて、まちづくりから、市民の意識啓発、政治分野や防災分野等、その時々テーマを選択し、幅広い活動を継続している。</li> </ul>